

あいさつ運動の好事例

玉野市立宇野小学校

(児童数194名 教職員数28名)

えがおで あいさつ！
～ 学校・家庭・地域の連携の取組 ～

アピールポイント

- ・学年ごとに児童が、あいさつ当番として、専用タスキをつけて、通用門に立ち、あいさつ運動を行う。
- ・小中連携として月に1回、中学生も児童と一緒に参加している。
- ・地区のパトロール隊の方々も、毎日参加している。
- ・PTA文化補導部主催で、毎週火曜日に保護者も交通査察をしながらあいさつ運動に参加している。
- ・4月には玉野市長やイメージキャラクター「のちゃん」も参加した取組を行った。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

大きな声であいさつができる児童とそうでない児童の差が大きい。めあてを決めて、チャレンジ週間に取り組む等、あいさつへの意識化・意欲化の向上を図っている。

■活動内容

年間目標として、「笑顔でかわそう あいさつを」を掲げ、全校であいさつ運動に取り組んでいる。保護者が通学路の要所に立ち、登校の安全の見守りとあいさつの声かけを行い、感想を査察ノートに記入し、今後の活動に活かしている。通用門でのあいさつ運動の最後は、児童からパトロール隊への感謝の気持ちを込めたお礼のあいさつで締めくくる。

■取組の参加メンバー

児童、教職員、中学生、保護者、地区のパトロール隊

■成果・効果

中学校区の全学校、家庭、地域が連携しながら、運動に取組むことで、あいさつへの意識が高まってはきたが、「相手の顔を見て」「自分から進んで」あいさつができていない児童も多い。学校の玄関上に掲げられた「笑顔であいさつ」という大きな文字に見守られながら、今後もあいさつを通して、活気ある思いやりにあふれた子どもの育成をめざしていきたい。